

日本最大級の住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」 住宅の耐震化、木のある暮らし、省エネ住宅の最新事情を一挙に発信

6月27日(土)、28日(日) ポートメッセ名古屋にて開催！！

6月27日(土)、28日(日)の2日間、住宅づくりに関連する80社以上の企業や自治体が一堂に会し、耐震性や省エネ性、健康性に優れた家づくり、住まいや暮らしへの木の活かし方などを提案する住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」を開催いたします。



2014年は35,641名がご来場

◆ 阪神・淡路大震災から20年 急務となる住宅の耐震化 ◆

今年1月17日で発生から20年を迎えた阪神・淡路大震災は、強い揺れにより全壊家屋10万4,906棟、半壊家屋14万4,274棟、死者6,434人という甚大な被害をもたらしました。神戸市内の犠牲者の死因としては、83.3%が建物の倒壊による窒息死や圧死、損壊死で、また12.2%を占める焼死も住宅の倒壊による火災延焼や避難の遅れが原因とされていることから、住宅関連の犠牲者は95%にも達すると見られています。

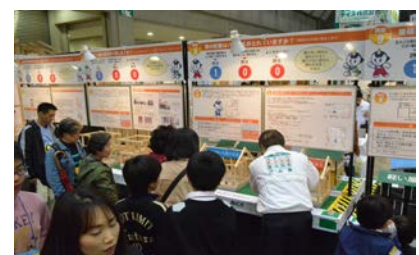
こうしたなか、昨年12月に政府は全国の地震発生確率の分布を示した「全国地震動予測地図」を発表し、今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が名古屋市で43%に及ぶなど、ひっ迫する大地震の危機を伝えています。また、南海トラフ巨大地震については、最悪の場合、静岡県で10万9,000人、三重県で4万3,000人、愛知県で2万3,000人の犠牲者が想定されるなど、甚大な被害が予想されています。

政府は、「強く揺れなくても耐震性が低ければ建物は倒壊し、強く揺れても耐震性が十分に高ければ安全が確保される。安全を確保する上で建物の耐震性は重要であり、耐震診断・改修について検討してほしい」としています。

◆ 住宅の耐震化の方法を分かりやすく学ぶ場 ◆

「耐震提案エリア」では、1981年以前の「旧耐震基準」で建てられた住宅、1981～2000年の「新耐震基準」で建てられた住宅、2000年以降の「現行の新耐震基準」で建てられた住宅に関して、テレビでも様々紹介された動く耐震模型を用いて揺れの違いを知っていただき、耐震診断や耐震改修の重要性を解説します。

また、自宅の築年数や形状、状態などに応じ、耐震化するために必要な手段や方法について「NPO法人住まいの構造改革推進協会」の会員が無償でご相談に応じます。耐震改修に必要な補強部材を展示するほか、住みながらでも工事ができる合理的な耐震改修についても紹介します。また、耐震診断を行うために床下や天井、断熱材や外壁・屋根の状態を確認できる各種機材を展示し、ご来場者に実際に操作していただくことも可能です。



専門家が耐震模型を使って丁寧に解説

会場では、東海地域、三重県内での住宅の耐震診断や耐震化の啓発活動などを行う「NPO法人東海耐震マイスター倶楽部」「NPO法人三重耐震マイスター倶楽部」が出展し、それぞれのエリアにおける取り組みを紹介するとともに、耐震診断や耐震改修について来場者のご相談に応じます。

◆ 子供も大人も楽しく学べる防災体験プログラム ◆

「親子で学ぶ防災体験ゾーン」では、ジャッキを用いてけが人をがれきの下から救出する方法や応急手当の方法を学んだり、紙を用いて食器をつくる体験など、子供が楽しみながら学べる防災体験プログラムを行います。

また、地震体験車により再現した地震の揺れを体験することができます。



地震体験車による地震の揺れを体感

◆ 地産地消の木材利用をご提案 ◆

「木材エリア」では、木材に関する展示や木造住宅の躯体に関する展示を行います。

本イベントを後援する長野県、岐阜県、愛知県、三重県をはじめとして、静岡県、徳島県、宮崎県、中津川市といった地方自治体や木曽広域連合といった地方公共団体が出展し、良質な地域材や積極的な木材利用の取り組み、地域材を活用した魅力的な住宅などの紹介を行います。

「木曽川流域 木と水の循環システム協議会」は、長野県、岐阜県、愛知県、三重県を流れる木曽川の流域で産出した良質な木材を「木曽川流域材」という一つのブランドとして提唱し、流域圏のつながりを意識した地産地消の家づくりを提案します。会場入り口では「木曽川流域のつながる ^{みこし}神輿」と題し、木や石、竹などを用いて神輿をイメージした空間展示を行うほか、「木曽川流域 暮らしのマルシェゾーン」では、木曽川流域で産出される食品や特産品などの展示・販売を行うなど、流域圏の自然や文化の恵みを実感することができます。

また、「木曽川流域のつながる家」と題した構造躯体を展示し、長期優良住宅や認定低炭素住宅づくりに必要な断熱材やサッシ、太陽光発電などの各種設備機器を併せて展示します。部材の展示としては、木材の強度性能や寸法安定性を測定するための機械であるグレーディングマシーンを会場に設置し、実際に木材を打撃して測定する実演を行うなど、家づくりにおける構造材の品質の重要性を解説します。

2010年に施行された「公共建築物等木材利用促進法」や国土保全の観点から木材利用の機運が高まっていることから、大中規模建築物など、住宅以外への木造建築の採用が増えています。会場では、スギの一般流通材を用いて新たに開発された、最大12メートルスパンを可能とした9メートルの梁を用い、無柱の大空間を実現した店舗型の構造躯体を展示します。

また、木の積み木やおもちゃを使い、幼児の心身の発育に良いとされる「木育」を体験することができるコーナーや、子供がミニ躯体での大工体験を通じて家づくりを学ぶことのできる「子供上棟式」なども用意しています。

◆ 最新の家づくりをご提案 ◆

「新築提案エリア」では、建物の高い断熱性や設備機器の省エネ性により排出する二酸化炭素の排出を抑制する「低炭素住宅」や、年間での一次エネルギー消費量が正味でゼロまたはおおむねゼロとなる「ゼロエネルギー住宅」について解説を行います。その上で、断熱材やサッシ、各種節水機器や高効率給湯器など、認定低炭素住宅をつくるために必要な設備機器や、太陽光パネルや蓄電池、HEMSといったゼロエネルギー住宅をつくるために必要な省エネ、創エネ、蓄エネ機器を紹介します。

また会場では住宅設備機器の国内トップメーカーが一堂に会し、趣向を凝らしたブースで最新の商品を紹介するほか、実演やセミナーなどで住まいや暮らしのあり方を提案します。



木曽川流域材を用いた構造躯体を展示



木の香りに包まれた会場



各種認定住宅に対応した躯体を展示

NEWS RELEASE

ナイス株式会社

◆ 性能向上リフォームで安全・安心・快適な生活を ◆

「リフォーム提案エリア」では、断熱リフォームやバリアフリーリフォームなどの快適性や安全性を高めるリフォームのほか、住宅の耐久性やメンテナンス性を高めるためのリフォームを紹介します。断熱材の種類やそれぞれの施工性や断熱性能の違いといった特徴を解説するほか、省エネ性や健康に与える効果についても説明します。また、「うちエコ診断士」による無料診断を実施し、自宅の光熱費や設備機器の仕様から排出されるCO₂量を算出し、住まい方や設備機器の交換、リフォームによる光熱費の削減方法に関するアドバイスを受けることができます。

さらに今年の注目施策「省エネ住宅ポイント制度」では、一定の省エネ性能を有する住宅の新築やエコリフォームを行うことで、様々な商品等と交換できるポイントを受け取ることができます。会場では、同制度を活用するために必要な住宅の条件や申請の流れなどを解説し、併せてオリジナルのガイドブックの配布も行います。

◆ 注目セミナー ◆

6月27日(土)

開始時間	終了時間	講義内容(タイトル)	講師
12:00	12:30	その時どうする！ 巨大地震・津波への対応	(株)ハイドロソフト技術研究所執行役員兼研究開発センター長 大阪大学客員教授/名古屋大学客員教授/熊本大学客員教授/名城大学 特任教授 川崎 浩司 氏
12:30	13:00	民法改正への住宅会社の対策～「瑕疵」 という用語が「契約不適合」に変わる～	弁護士法人匠総合法律事務所 弁護士 萩野貴光 氏
13:00	13:40	南海トラフ巨大地震に備える	愛知県防災局防災危機管理課啓発グループ 主事 延時 雄大 氏
13:50	14:30	お金をかけずにできる命を守る家具固定	あいち防災リーダー会 相談役 早川澄男 氏

6月28日(日)

開始時間	終了時間	講義内容(タイトル)	講師
10:00	10:30	光熱費・ガソリン代節約のすすめ！ ～うちエコ診断で エコなくらし～	全国うちエコ診断実施機関 NPO 法人住まいの構造改革推進協会
12:00	12:30	その時どうする！ 巨大地震・津波への対応	(株)ハイドロソフト技術研究所執行役員兼研究開発センター長 大阪大学客員教授/名古屋大学客員教授/熊本大学客員教授/名城大学 特任教授 川崎 浩司 氏
12:30	13:00	民法改正への住宅会社の対策～「瑕疵」 という用語が「契約不適合」に変わる～	弁護士法人匠総合法律事務所 弁護士 萩野貴光 氏

◆ 開催概要 ◆

日時： 2015年6月27日 (土) 10:00～17:00

6月28日 (日) 10:00～16:00

場所：ポートメッセなごや 第2展示館・第3展示館

入場：無料

主催：ナイス株式会社

協賛：木材・建材・住宅設備機器有力メーカー

後援：ナイスパートナー会連合会、ナイスわくわくクラブ、素適木材倶楽部、一般財団法人 強靱な理想の住宅を創る会、

長野県、岐阜県、愛知県、三重県、一般社団法人 木と住まい研究協会、NPO法人 住まいの構造改革推進協会

ホームページ：http://www.nicefair.com/

住まいの耐震博覧会とは

2002年からスタートし、東京、名古屋、仙台、大阪、福岡など全国主要都市で開催しています。これまでの累計来場者数は150万人を突破し、住宅の地震対策に関する総合展示会として国内最大級の規模となっています。

この件に関するお問い合わせ*****

ナイス株式会社広報室 宮川・小嶋 〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 TEL: 045-501-5048